

授業科目名	星槎学	単位数	2単位
担当教員名	西永堅・安部雅昭・蓮田亮太・佐藤由加子	担当形態	クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係			
<p>DP1. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけることができる（貢献力）</p> <p>DP3. 自分の専門以外の領域からも得られた知見を統合することができる（統合知）</p> <p>DP5. 共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる（継続力）</p>			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>(1) 星槎の理念をわかりやすく表現した、星槎の3つの約束（人を認める、人を排除しない、仲間を作る）を理解し、その実践をめざす。</p> <p>(2) 星槎グループの創始者宮澤保夫が行ってきたことを通して、社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げることに挑戦していく社会的な意味を理解する。</p> <p>(3) 星槎の理念を身につけ、「共に生きる。共に育つ。」ことを目指しながら、「星槎の心」を理解し、社会に支えられ、社会を支える一員として、具体的な行動（自分事として）について、自分なりの共生科学を表現できるようになる。</p>			
授業の概要			
<p>星槎の歴史や取り組みについて知るとともに、「共生」や「共感理解教育」といった教育理念について学修し、そこにおける「星槎らしさ」は何であるのかを体得し、現代社会と、未来における、さまざまな困難に対して、受講生が、主体的に問題に取り組んでいくことへの示唆を得ることで、それぞれの受講生が捉える「星槎らしさ」の実践を目指す。</p>			
授業計画			
<p>第1回：「星槎」の由来と意味 第2回：星槎の「建学の精神」、「教育理念」 第3回：星槎の「教育目標」、「校訓」 第4回：星槎の歴史1（昭和） 第5回：星槎の歴史2（平成） 第6回：星槎の組織 第7回：星槎グループ創設の理念 第8回：星槎グループが目指すもの 第9回：共感理解教育1（理念と概要） 第10回：共感理解教育2（自利利他の精神） 第11回：共感理解教育3（共感理解教育とA T T） 第12回：共感理解教育4（場所文化） 第13回：共感理解教育5（インクルージョン教育との関係） 第14回：共感理解教育6（国際理解と共生） 第15回：「メト・ペマ村」構想 科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
<p>星槎を支えている「理念」について学修するとともに、日本が抱える教育だけに限らず、さまざまな諸問題について「共生」の観点から社会変革を考察する。（第1回から第15回全ての内容を横断的に含む。）</p>			
テキスト			
<p>(1) 宮澤 保夫『人生を逆転する学校 情熱こそが人を動かす』角川書店 ISBN-13. 978-4048850872 (2) 宮澤 保夫『必要なところに私は行く—そして必要なことをする』丸善雄松堂 ISBN-13 : 978-4841940114</p>			
参考書・参考資料等			
<p>(1) 宮澤 保夫『宮澤の独り言』星槎大学出版 2010 ISBN 9784877383794 (2) 宮澤 保夫『関わりあいわかち合う教育—本日の会長コメント』遊行社 2012年 ISBN-13 : 978-4902443189 (3) 星槎グループ（宮澤保夫監修）『「行きたくない」が「行きたい」に変わる場所—こんな学校があってもいいんじゃないか!』小学館 2018年 ISBN 9784098401901</p>			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			